

ストップ! 高齢者いじめアクション

日時: 10月1日 12:15~
場所: 首相官邸前

ちば労連

ホームページ <http://chibarouren.jp/> メール chibarouren@axel.ocn.ne.jp

第 262 号 URL 版 2013 年 9 月 30 日

発行 千葉県労働組合連合会

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター

電話 043(225)5576 FAX 043 (221) 0138

発行人 本原康雄 定価 20 円

【1面】

激励しあい 6 万千葉労連へ

千葉労連第 25 回定期大会

9 月 8 日、ホテル「プラザ菜の花」にて開催された千葉労連第 25 回定期大会には、代議員、役員、来賓含め 170 人が出席しました。23 人の代議員からの活発な発言により 13 年度運動方針がより深められ、全議案が満場一致で採択されました。13 年度の新たな役員も選出されました。

今大会は議長団に千葉土建の海老原代議員、東葛地区労の青木代議員が選出されました。

松本議長のあいさつ【要旨別掲】の後、来賓の高橋全労連副議長、原水爆禁止千葉県協議会の花井代表理事、中央労働金庫の日高千葉県本部長、日本共産党の浮揚千葉県委員長から激励のあいさつを頂きました。

議案提案は、本原事務局長による 13 年度運動方針(案)、広瀬事務局次長による財政方針・予算(案)があり、新加盟組合の紹介、争議団の紹介がありました。

討論では、23 人の代議員から活発な発言【要旨別掲】がありました。

討論のまとめとして、本原事務局長より「職場も違うし地域も違うが、それぞれの組合がそれぞれの現場でいろいろな困難をかかえながらも、奮闘して打開の展望をきり広げていっている、あるいはそこに向かうための支援を求めているという発言だった。お互いに聞きながら、それを自分たちの組織の活動に活かせる点はたくさんある。もっともっとお互いの闘いを交流できる場を増やしていきたい。交流の場を積極的に持ちながら、お互いが激励しあって運動を展開し、方針案や大会スローガンでも求めている、憲法を中軸にすえながら、くらしと雇用を守っていく、そして平和を守っていく、そういう千葉労連の運動を今日の大会をきっかけに一年間みなさんと一緒につかっていきたい」と総括答弁。その後の採択では全議案が満場一致で可決されました。

続く役員選挙では、立候補した候補者全員が新任され新役員が選出されました。『憲法を中軸にすえ、くらしと雇用を守っていく、そして平和を守っていく、そういう千葉労連の運動を今日の大会をきっかけに一年間みなさんと一緒につかっていきたい』と総括答弁。その後の採択では全議案が満場一致で可決されました。

続く役員選挙では、立候補した候補者全員が新任され新役員が選出されました。『憲法を中軸にすえ、くらしと雇用を守っていく、そして平和を守っていく、そういう千葉労連の運動を今日の大会をきっかけに一年間みなさんと一緒につかっていきたい』と総括答弁。その後の採択では全議案が満場一致で可決されました。



経営者の横暴を許さずたたかう県争議団



参加者全員で団結がんばろう

しと雇用、平和を守る共同広げ、6 万千葉労連へ前進させよう』のスローガンを確認し、団結がんばろうを三唱して閉会しました。

国民が幸せになれる社会を 松本議長あいさつ

現在の情勢を一言で表現すると、夜明け前です。資本主義の行き詰り、一部のものしか豊かにできないシステムの矛盾が激化しているからです。賃上げ、雇用、原発、消費税、TPP、憲法、いずれの課題も激突です。政治的には、3 月の知事選で明るい会は、三輪定宣さんを擁立し、前進面を切り開きました。その後、労働者階級の利益を代表している日本共産党が都議選でも参院選でも大きく躍進しました。この変化が情勢の特徴です。私たちは、「国民が幸せになる社会」をめざし、くらしと平和と民主主義を守り、発展させることこそ閉塞打開につながると奮闘しています。

一方、安倍政権はアメリカと財界が主張する「企業が一番活動しやすい国」づくりをめざし、改憲と解雇自由化など、労働法制改悪をねらっています。この路線は、戦争と貧困大国の道であり、破滅路線で容認できません。

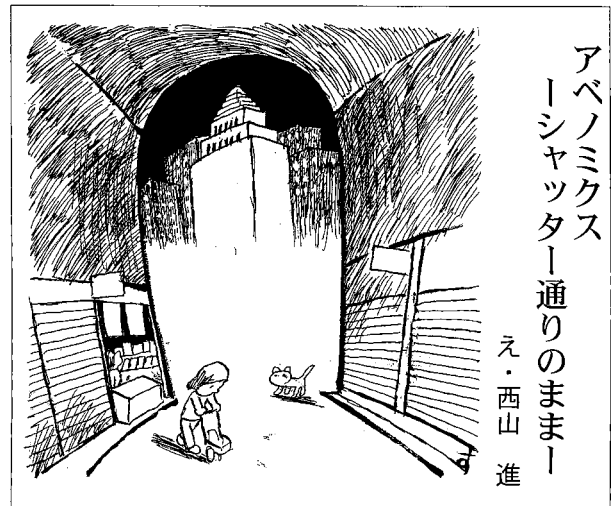
それでは千葉労連は何をするのか、三つです。

一つは、労働組合の命である賃金、雇用、社会保障を含め要求を前進させることです。二つめは、組織を拡大強化し、6 万千葉労連をめざします。三つ目は、憲法が生き、人権が守られる政治に変えることです。

一部のものだけが豊かになり、圧倒的多数が貧困になるという資本主義のシステムに問題意識を持つ人が増えています。最後に、労働者階級の最前線でたたかっている争議支援に全力をあげることを申し上げ、あいさつとさせていただきます。

波濤

ファッションに敏感なら、トレンドが気になるところ。洋服はもちろん、インテリアや自動車、化粧品など、ポイントの一つは色だろう。日本流行色協会によれば、今年の秋冬は安定感のある「ダーク」「ブラック」「グレイッシュ」を基調に光を引き立てる色や素材を提案している。時代を反映すると言われる流行色は、実シーズンの 2 年前に既に選定されている。つまり 2013 年の流行は、2011 年につくられたものであり、それを参考にアパレルなどが商品を企画し流通、店舗に並ぶ。さて、昨今はどうだろう。安定どころか、ブラック企業にブラックバイトがはびこる...そんな「黒」の流行は許されないはずだ。



【2 面】

大会代議員発言

公務員賃下げは違憲 千葉県国公・山谷修さん

この間、給与改善、労働条件を守り国民へのサービス低下を防ぐため奮闘してきた。1960 年以降初めて人事院は政府に対して勧告せず、報告にとどめた。人事院の役割を放棄している。賃下げに関して地方や

民間に波及するのを防ぎたい。

官民共同で大きな運動へ 自治労連・竹内敏昭さん

政府は消費税、社会保障改悪の推進の批判をかわす為に公務員賃金削減を行った。民間労組と共同で県庁要請、自治体キャラバンなどを行ってきた。県、自治体、全てに要請行動を行った。ある首長は「地方自治体介入に断固反対」と我々の行動を支持した。

制限ない学費無償化を 全教千葉・青木敏之さん

教育における権利を守る闘いについて。自公政権が高校無償化に関して 910 万円の所得制限を企てている。所得制限の持ち込みが子どもたちを分断し、いじめを助長することにつながる。したがってすべての子どもの学費を無償化する必要がある。

設計労務単価が上昇 千葉土建・栗原厚さん

設計労務単価が上昇し、建設業界に激震が走った。仲間の奮闘があつてこそで喜ばしいこと。国交省から「建設労働者の適切な賃金支払いは建設産業全体の課題」と建設団体、民間発注団体などに異例の申し入れが相次いでいる。引き続き運動を強めたい。

取り返しのつかない労災 全労連全国一般・蛸原浩さん

悪質フェードとの闘いが続いている。労組役員の不当処分について、都労委は、会社に対し不当処分は無効と断罪した。この夏、現場で組合員の重大な労災事故が発生した。組合敵視によるベテラン、労組委員長の配転で、安全面を無視した末の人災である。絶対許せない。

長生きして何が悪い！ 船橋労連・川俣孝雄さん

自治体キャラバンで、船橋市と交渉した。年金制度の改善を国に要請するよう求めたが、「国にモノは申しません」という態度でがっかりした。今の生活実態からかけ離れた年金制度を改善させ、最低保証年金確立や、年金支給年齢引き下げに向けて頑張りたい。「長生きして何が悪い！」社会保障充実に全力をあげる。

11月地域総行動に全力 八千代労連・山本昭彦さん

八千代市長選挙で、政策協定を締結し、労連として秋葉市長を推薦したが、当選したとたん「箱モノ行政推進」を表明。よって絶縁状を突き付け、辞職を求めている。市職労への 7・8%賃金削減、コクボ分会での大幅賃下げ提案あり、11月の地域総行動に結集し全力で跳ね返す。

労組活動で教育を守る 私教連・福永浩司さん

私立学校の中で、争議が多発している。この間、妊娠を理由にした解雇、一時金の不当なカット、労組結成の妨害、不当配転等の攻撃を労組の力で跳ね返した。私立学校から一切の首切りや争議を無くし、子どもたちのために全力を注げる教育現場を実現したい。

青年のつながりを広げたい 青年部・吉田直義さん

青年労働者は、正規・非正規問わず超長時間・過密労働の状態に置かれ、バラバラにされている。こうした青年達とつながろうと、合コン企画や「知ろう！みんなの給与」等の企画をしてきた。10月6日にも「追跡中」を企画中。青年を送り出して欲しい。

地域で人間らしい人生を 市川浦安労連・田中長義さん

5月に「いじめ体罰問題」で学習会を開催し、120名が参加した。「地域で一堂に会する機会は重要」との感想も寄せられた。地域労連も後押しし、公契約でも土建や清掃の仲間が奮闘している。地域の争議解決も果たし、人間らしい人生を送れる地域を作りたい。

正規化の運動強化を 生協労連コープ ネットグループ 労組・清水深華さん

非正規労働者の運動を強化してほしい。「家を持たない」「車も買えない」「結婚も考えられない」のが非正規労働者の現実。少子化の問題もある。組織拡大の強化と地域総行動を展開して行く。

国の安心・安全を守る 千葉県国公・大友和弘さん

国家公務員の職場実態と問題について、この間県内の首長と懇談してきた。公共サービスが低下しないよう、国の安心・安全を守るため自治体キャラバンに結集して改善して行きたい。

切実な願いに込めて 自治労連・石井勝弘さん

賃金削減に反対する署名を組合員数の倍集め、職員の切実な願いを聞いた。県の労働委員会に不当労働行為の救済申し立てを行い、賃金削減の撤回を求める新たな闘いに入った。

通年拡大で必ず実増を 千葉土建・並木寛治さん

国の締めつけで大勢の仲間を失った。最大の試練だがむしろ今、組合に期待が高まっている。現場訪問を行い、仲間にも元気がでた。通年拡大の方針で実増を勝ち取り、千葉労連に貢献したい。

解雇自由化を許さず JMIU・高山弘之さん

I BMは 08 年以降、あらゆるやり方で解雇をしてきた。人事評価を相対評価でおこない、下の人は減給にされる。その後は退職強要する。それでも辞めない人に対してロックアウト解雇をしている。日本の労働者の最前線に立ち、政府・財界が狙う解雇自由化を許さず、闘っていく。

理由なき排除許さない 女性部・高野明美さん

男女共同参画関連団体の登録更新申請をしたが、登録できる団体に該当しないと通知がきた。理由は特定の政党を支持しているという言われなきこと。このまま何もしないわけにはいかない。質問書を出す予定。また女性部で再生可能エネルギーについて学ぶ企画を計画中。

みんなで一緒に運動を 年金者組合・久保庄司さん

年金 2・5%引き下げを、自民・公明・民主が勝手に決めてしまった。年金者組合として行政不服審査請求を一斉に行う。年金受給者の女性の半分は 1 ヶ月の年金が 5~10 万円で生活保護水準だが現在のバッシングのなかで受けづらい人がある。年金は誰でもいずれは受けるもの。年代を問わず運動をすすめたい。

地域労連交流の活性化を 船橋労連・藤和男さん

市長選では明るい会に結集し、斎藤さんを候補者に立てて 6 つの改革を訴えた。残念ながら当選できなかったが供託金没収はされなかった。地域労連の交流を熱望する。活動の発展、組織拡大や世代交代をどう進めていくか。応援、励ましあいながら、地域から運動を大きくしていく意味で極めて重要。さらに重視して行ってほしい。

郵政の職場の実態 郵政産業労働者ユニオン・宇田川朝史さん

民政化されたのは上辺だけ。管理者側には全く民営化のメスが入っていない。現場いじめが激化。非正規労働者は約 20 万人。国民のインフラを預かっている大事な仕事をしていることを、管理者自身がわかっていない。これが最大の問題と考える。

地域労連の役割発揮を 東葛労連・岩田一夫さん

地域労連の参加が少なくなっている。定期的に参加できていない組合が、今どういう問題をかかえているのか、その中身をつかんでおかなければ地域労連の役割を出していけない。組織組合へのオルグが大事。

一人で悩む労働者救済を 通信労組・横山幹雄さん

労働相談センターに多くの悩みが寄せられている。直近では NTT の子会社で契約社員が更新直後にパワハラを伴う強引な退職勧奨を受けるなど。助けを求める労働者を救済して行きたい。

子どもの命を守る運動を 福祉保育労・山田悦子さん

公的保育制度を解体する「子ども・子育て関連 3 法」が成立。心配なのは保育の質が低下し子どもが金儲けの対象になること。子どもの命を守るのが保育士。今後の運動が大事。

患者と向き合う医療を 医労連・遠藤祐子さん

医療の高度化、入院期間短縮のなか、千葉県では看護師の争奪戦がおきている。看護師を増やし、経営のためではなく患者に向き合った医療現場であるべき。運動の協力を。